

学校案内

NAGANO PREFECTURE SCHOOL OF PUBLIC HEALTH

 長野県公衆衛生専門学校

歯科衛生士学科





教育方針

教育理念

生命の尊厳と人権の尊重を基盤にし、自学、自修、自治の精神を育み、豊かな人間性を養う。
保健医療従事者として基礎的な知識・技術を持ち、人々の健康に貢献する歯科衛生士を養成する。

教育目的

歯科衛生士法に基づく必要な知識・技術を教授し、口腔衛生の向上に寄与する有能な歯科衛生士を養成する。

教育目標

- (1) 人を愛する心を持ち、口腔の健康をとおして人の健康を考える能力を養う。
- (2) 人間を幅広く理解し、よりよい人間関係が築けるコミュニケーション能力を養う。
- (3) 歯科予防処置、歯科診療の補助及び歯科保健指導の知識・技術を習得し、総合的な実践をとおして、科学的・論理的に考え、問題解決ができる能力を養う。
- (4) 社会の動き、環境の変化に即応し、常に主体的に学習し続ける能力を養う。
- (5) 保健医療従事者の一員として協調・協働できる能力を養う。

歯科衛生士の仕事



歯科衛生士は歯・口腔の健康をとおして
人々の健康をサポートするスペシャリストです。

高齢になっても元気な人は、歯や口腔の健康な人が多く、全身の健康に口の健康が関わっていることも明らかになってきました。「生涯自分の歯でおいしく食べる」「楽しく会話をする」ために歯や口腔の健康が欠かせません。そのためには、乳幼児期からのむし歯予防や、成人の約8割が罹患しているといわれる歯周病を予防することが重要です。

人の一生のそれぞれの場面で、健康づくりのサポートを行う国家資格の専門職が歯科衛生士です。

■ 歯科衛生士の主な仕事



歯科予防処置



歯科保健指導



歯科診療補助



口腔ケア(病院・高齢者施設・在宅)

診療室で歯科医師とともに処置を行うばかりでなく、障害者や高齢者の口腔管理を担うスペシャリストとして、質の高い口腔ケアの提供や、口腔機能維持のための訓練等、歯科衛生士の活躍の場は広がってきています。

■ 歯科衛生士の活躍の場

総合病院、大学附属病院、歯科診療所、市町村、保健所、介護老人保健施設、事業所、歯科衛生士学校または養成所等

学校紹介

修業年限、定員、授業料

学 科	修業年限	定 員	授業料
歯科衛生士学科	3年	60人(1学年定員20人)	166,800円(年額)

※日本学生支援機構 給付奨学金、貸与奨学金対象校

※授業料減免制度あり

卒業後の資格

- ア 歯科衛生士国家試験の受験資格が得られる。
- イ 専門士(医療専門課程)の称号が得られる。

授業時間割

時 限	時 間
ホームルーム	8:50 ~ 9:00
1時限	9:00 ~ 10:30
2時限	10:40 ~ 12:10
(昼休み)	12:10 ~ 13:00
3時限	13:00 ~ 14:30
4時限	14:40 ~ 16:10



実習室

国家試験の状況(合格率)

(%)

年 度	元	2	3	4	5
全 国	94.3	93.3	95.6	93.0	92.4
本 校	100	100	100	94.4	100

卒業生の就職状況

年度	卒業 学生数	求人状況(求人数)			就職状況(人)		
		県内	県外	計	県内		県外 診療所
					病院	診療所	
2	19	111	456	567	2	16	2
3	20	119	542	661	0	19	1
4	18	126	659	785	0	16	2
5	18	120	582	702	2	14	2

歯科衛生士学科
卒業生数
1,782人

入学生の状況 出身地域別入学状況

年度	上伊那	飯伊	諏訪	中信	北信	東信	県外	合計
3	5	6	4	2	0	2	1	20
4	8	4	4	3	0	1	0	20
5	9	1	3	2	1	0	1	17
6	15	3	1	0	1	0	0	20



※長野県は「歯科口腔保健推進条例」を制定し、歯科口腔に関する保健医療サービスに携わる者の確保及び資質の向上に取り組んでいます。

教育内容

■授業科目

基礎分野	心理学、倫理学、日本語表現法、社会学、生物学、化学 英語 I・II、音楽、健康とスポーツ
専門基礎分野	解剖学、組織発生学、生理学、生化学、口腔解剖学、歯牙解剖学 口腔生理学、口腔生化学、病理学、口腔病理学 微生物学、口腔微生物学、薬理学、栄養学、口腔衛生学 I・II 衛生・公衆衛生学、統計学、衛生行政、社会福祉、基礎医学
専門分野	歯科衛生士概論、歯科臨床概論、歯・歯髓疾患学、歯周治療学 歯科補綴学、歯科矯正学、口腔外科学・麻酔学、小児歯科学 障害者歯科学・高齢者歯科学、歯科放射線学 歯科予防処置論、歯科保健指導論、歯科診療補助論 栄養指導法、歯科材料学、看護学、臨床検査 摂食嚥下リハビリ法
選択必修分野	高齢者学、コミュニケーション論、カウンセリング 情報科学 I・II、経営マネジメント、研究
臨床・臨地実習 (実習施設)	歯科大学附属病院、医学部附属病院、地域医療支援病院、歯科診療所 保育園、小学校、養護学校、高齢者施設、保健センター

■教員

非常勤講師約54名（信州大学、長野県看護大学、飯田短期大学、伊那中央病院、長野県歯科医師会会員ほか）
専任教員（歯科衛生士）4名、演習・校内実習等指導歯科衛生士9名

学校の沿革

■沿革

- 昭和44年4月 長野県公衆衛生専門学院伊那分院歯科衛生士学科として伊那市室町に開設、
歯科衛生士の養成を開始
(昭和44年3月31日厚生省収医第157号指定)
- 昭和52年8月 伊那分院、伊那市上荒井へ移転
- 昭和55年4月 学校教育法に基づく公立専修学校専門課程の設置が許可される。
名称を長野県公衆衛生専門学校伊那分校と変更
(長野県教育委員会指令54教高第566号)
- 昭和56年2月 伊那市上荒井の新校舎へ移転
(昭和56年4月1日厚生省収医第36号指定)
- 昭和63年4月 歯科衛生士学校養成所指定規則の一部改正に伴い修業年限2年となる。
名称を長野県公衆衛生専門学校伊那校と変更
- 平成21年4月 長野校閉校に伴い伊那校が「長野県公衆衛生専門学校」となる。
- 平成22年4月 歯科衛生士学校養成所指定規則の一部改正に伴い修業年限3年となる。
- 平成23年3月 歯科衛生士学科2年制課程の養成終了
- 令和元年8月 創立50周年記念式典挙行

キャンパス ライフ CAMPUS LIFE



「化学」講義



入学式



校外研修 マナー講座

1年生



「歯周予防処置」スケーラー操作マネキン実習



伊那まつり参加



「栄養指導」調理実習



校外研修 テイズコーラボ



「口腔保健管理法」個別指導

2年生



校外研修 明海大学



保育園 集団歯科保健指導実習



模擬患者実習



日本歯科衛生学会 第18回学術大会
開催日程：2023年9月16日（土）～18日（月・祝）
校外研修 日本歯科衛生学会参加

3年生



小学校 歯科保健指導実習



「看護学」演習



卒業式

自治会



緑化委員会



交流会



3年生を送る会

先輩からのメッセージ

1年生に
質問しました。



歯科衛生士を
目指した理由は？



Oさん(下伊那出身)



Kさん(北信出身)

2年生に
質問しました。



公衆衛生専門学校に
決めた決め手は？



Kさん(上伊那出身)



Yさん(諏訪出身)

3年生に
質問しました。



公衆衛生専門学校の
良いところは？



Oさん(上伊那出身)



Yさん(諏訪出身)

在校生の出身校 (大学卒業の学生についても出身高校を記載しています) ※県内のみ

長野西高校、中野西高校、蓼科高校、丸子修学館高校、富士見高校、諏訪実業高校、諏訪二葉高校、下諏訪向陽高校、岡谷東高校、岡谷南高校、東海大諏訪高校、辰野高校、箕輪進修高校、上伊那農業高校、伊那北高校、伊那弥生ヶ丘高校、高遠高校、赤穂高校、伊那西高校、松川高校、飯田風越高校、飯田OIDE長姫高校、阿智高校、飯田女子高校、木曾青峰高校、塩尻志學館高校、松本蟻ヶ崎高校、豊科高校、南安曇農業高校、松商学園高校 等

卒業生からのメッセージ



高橋あおいさん・下平 雪美さん
(令和6年3月卒業)

伊那中央病院 勤務

伊那中央病院の特殊歯科・口腔外科では地域の歯科医院と連携し、有病者(心臓病、脳卒中、抗凝固療法中の方など)の歯科治療、舌ガンに代表される頭頸部悪性腫瘍や顎関節症、口腔心身症、インプラント治療など、専門性の高い診断・治療を行っています。

当科における歯科衛生士の主な業務として、診療の補助や入院患者さんの口腔ケア、全身麻酔の手術前後及び抗がん剤や放射線療法を受ける患者さんへの専門的ケアなどを行っています。

4月から勤務し始めた私たちは今、先輩歯科衛生士さんに見守っていただきながら、処置のアシスタントについています。

長野県公衆衛生専門学校では、歯科医院や病院だけでなく、高齢者施設や保育園、養護学校等に実習に行くことができ、様々な年代の方と関わる事ができます。その経験は実習だけでなく、勤務してからも活かすことができていると感じています。

まだまだできないことが多い私たちですが、学校での経験を活かし、先輩歯科衛生士さんに指導していただきながら、それぞれが思い描く歯科衛生士になれるよう、日々成長していきたいと思っています。

しがき歯科医院 勤務



尾曾 綾さん
(平成31年3月卒)

私は歯科衛生士になって6年目になります。

就職して5年が経過した時、現在の職場が新規開院のタイミングを迎え、昨年より当院で勤務しています。

当院は患者さんひとりひとりと誠実に向き合い、地域の方々から親しまれる医院をモットーとしています。また、それぞれ専門分野を持つドクター2人により様々な視点から幅広く診療を行っています。

その中で私は主にメンテナンスと歯周病治療を担当制で行なっています。継続して担当することで症状の変化や状況を理解しやすく、効果的なアドバイスができること、定期的に顔を合わせることでコミュニケーションがとりやすいことが良い点だと思っています。

自分の思うように改善されないような時は悩むこともありますが、やりがいも多く感じられます。患者さんから感謝の言葉をいただけた時は一番やりがいを感じ、さらにモチベーションにもつながっています。

歯科衛生士は小さなお子さんから高齢の方まで幅広い世代に貢献できる素敵な職業だと思っています。

くらた歯科医院 勤務



田中 文華さん
(平成28年3月卒業)

私は南箕輪村のくらた歯科医院に勤めています。

当院は予防歯科が中心で、6~7割の患者さんがメンテナンスで通院されています。また一般的な治療だけでなく、インプラントや矯正治療

などの専門分野にも力を入れています。

日々の診療の中で、患者さんから「ありがとう」「綺麗にしてもらって嬉しい」などの言葉をいただいた瞬間は、とてもやりがいを感じ、原動力にもなっています。

今は歯科衛生士9年目になり後輩も増え、教えることの難しさに直面しています。しかし、指導する中で新たに学ぶこともたくさんあり、自分自身も成長していることを実感しています。そのようなスタッフみんなで切磋琢磨しながら仕事ができる環境に感謝しています。

私が生まれ育った村で、多くの患者さんに貢献できるよう、これからも日々スキルアップしていきたいです。

“お口は健康の入り口”と言われていました。それをサポートできる歯科衛生士は、とても素敵で最高の職業だと思います。

毎日楽しく仕事ができている、歯科衛生士になって本当に良かったと感じています。

開業医で訪問歯科業務&特別養護老人ホーム 勤務



小澤 智里さん
(昭和59年3月卒業)

専門学校を卒業し、歯科衛生士資格を取得してからは、開業医等に勤務し、その後歯科衛生士会が繋いでくれた御縁で、要介護高齢者の方が生活されている介護老人保健施設に、歯科衛生士業務を行う歯科衛生士として約15年間勤務しました。

その間、「専門的口腔ケア」とは、何をしたら良いのか、介護スタッフや要介護高齢者の方に対して、どのような「口腔ケア方法」の指導をすれば良い結果が出るのか、そもそも口腔機能管理とは何を目的とするのだろうか、などと悩みはつきませんでした。一見大変なようですが、それを解決すべく、研修会などに参加したり、歯科衛生士の仲間に見解を求め、また、施設の他職種の方と意見を交換しながら、それらを謎解きし、解答を探すことが面白く楽しい日々でした。

そのような中で、同じ施設内だけでなく地域で生活されている要介護高齢者の方の「口腔機能管理や食支援をやってみよう」と思うようになり、それを理解してくださる歯科医の先生のご協力をいただき、最近ようやく訪問での口腔ケアをスタートすることができました。

昭和の時代から歯科衛生士をしてきましたが、いくつになってもワクワクドキドキすることができる面白い職業であるな、と改めて思っております。

在校生からのメッセージ



3年 暮沼ちかほさん

私は、将来の目標を考える中で、通っている歯科医院で関わった歯科衛生士さんへの憧れと、国家資格という強みを手にしたいという気持ちから、歯科衛生士を目指すことにしました。

体験入学などに参加した際の先輩方の温かな雰囲気がとても良いと感じ、本校への進学を決めました。

優しく温かな雰囲気は、1クラス20名という少人数の学校であるため、生徒同士はもちろん、先生方とも関わりやすい距離感があるが故だと思います。

先生方が一人ひとりに寄り添った指導をしてくださること、また学習でわからないことがある時は、クラスの仲間間で答えを導き出すなど、学ぶ環境が充実しているため、多くの知識・技術を身につけられていると感じます。

学校内での学びに加えて、保育園、小学校、高齢者施設そして歯科診療所、病院などでの実習があることで、歯科衛生士の業務や多職種との連携、様々な対象者との関わり方についても学ぶことができ、自身の目指す歯科衛生士像を描くことができます。

公衆衛生専門学校で過ごし、勉強や実習に取り組み、多くの人と関わっていく中で、自分自身としても日々目標に向かい、成長できていると感じられていることが、何よりこの学校に進学してよかったと思える点です。



長野県公衆衛生専門学校

問い合わせ先

〒396-0025 長野県伊那市荒井4347-1

電話 0265-72-4730 FAX 0265-76-9922

E-mail koshueisei@pref.nagano.lg.jp

<https://www.pref.nagano.lg.jp/koshueisei/>